

# はじめに

少子高齢化に伴う人口減少の急速な進展や、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行などに加え、地球温暖化に起因する気候変動がもたらす自然災害の激甚化、AIやIoTといった先端技術の急速な進展による産業、就業構造の変化など、私たちを取り巻く社会環境は大きく変化しています。当町も例外ではなく、特に人口は減少局面を迎え、今後も安心して住み続けられるまちづくりをしていく上で、大変重要な転換期を迎えているといえます。



このような中で、当町を取り巻く社会環境、経済情勢、町民ニーズ等の変化に的確に対応するため、長期的な展望のもと当町が目指すべき将来像やまちづくりの行動指針などを町民と共有するための基本的かつ総合的な計画として第6次菰野町総合計画を策定しました。

第6次菰野町総合計画では、「明るい未来に向けて、私たち一人ひとりが主役」を基本理念とし、当町の今後11年間に向かうべきまちの将来像に「支えあえる、安全で安心なまち」、「豊かな自然を活かして人びとをひきつけるまち」、「産業の発展と豊かなくらしが循環するまち」、「菰野らしい風景の中、子育てしやすいまち」の4つをあげ、「これらのことが、いつまでも、菰野町としてあり続けられること」を目指しています。

今後の持続可能なまちづくりにおいては、町民と行政がそれぞれの役割と責任を自覚し、それを果たすことや地域のつながり、支えあいをこれまで以上に大切にしていくことが必要となります。このため、計画策定の過程においても、まちづくりを自分のことと考えることができるよう、まちの将来を担う若者を含め、多くの町民に関わっていただいております。また、町民皆様の想いが詰まった本計画の推進にあたっては、町民、地域と行政の連携、協働によって町民皆様にとってもっと住みよいまちとし、誰一人取り残すことのないまちづくりを共に目指していきましょう。

最後に、本計画の策定にあたり、ご尽力をいただきました「菰野町総合計画策定検討委員会」の委員の皆様をはじめ、町議会議員各位、そして、「町民アンケート調査」や「パブリックコメント」などの計画策定における様々な取り組みにご協力をいただきました町民の皆様や関係各位に対しまして、心からお礼を申し上げます。

令和3年（2021年）3月

菰野町長

柴田孝之